

## 生産者の皆様へ

### 登録内容変更についてのお知らせとお願い

## ガゼット粒剤（農林水産省登録第17400号） 石原ガゼット粒剤（農林水産省登録第21046号）

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、ガゼット粒剤は登録作物の削除申請をいたしました（平成26年11月11日）。短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短期間（1日）に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

■ お願い：作物名が削除される作物では使用しないでください。

■ 登録変更内容：作物名から下記作物を削除する。

なす	きゅうり	すいか	メロン
とうがん	だいこん	いちご	ねぎ
かんしょ	キャベツ	はくさい	ブロッコリー
ばれいしょ			

■ 登録変更後の【適用害虫と使用方法】は裏面の通りです。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

（日産製品の場合）

日産化学工業株式会社 農業化学品事業部 マーケティング部 TEL：03-3296-8141

（石原製品の場合）

石原バイオサイエンス株式会社 開発普及部 TEL：03-5844-6320

## 変更後の【適用害虫と使用方法】(平成26年11月11日 申請内容)

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*		使用方法
				本剤	カルボスルファン剤	
水 稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ イネゾウムシ イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60 ×3cm 使用土壌 約5ℓ)	1箱当り 40~70g	移植前3日~ 移植当日	1回	育苗箱の苗の 上から均一に 散布する。
	ヒメトビウンカ ツマグロヨコバイ		1箱当り 50~70g			
	イネシンガレセンチュウ		1箱当り 70g			
ピーマン	アブラムシ類 ミナミキイロアザミウマ	1~2g/株	定植時	1回	1回	定植時: 株元散布又は 植穴土壌混和 育苗期後半: 株元散布
		1g/株	育苗期後半			
さとうきび	ハリガネムシ メイチュウ類 コガネムシ類幼虫	6~9kg/10a	植付時	2回 〔植付時の土壌混和は1回〕 培土時の土壌混和及び 散布は合計1回	植溝土壌混和 株元土壌混和	
			培土時			
たばこ	アブラムシ類	6kg/10a	定植時	1回	1回	作条土壌混和
き く	ネグサレセンチュウ	30kg/10a	定植時	3回	3回	全面土壌混和 株元散布又は 植穴土壌混和 株元散布
	アブラムシ類	2g/株				
	ミカンキイロアザミウマ	生育期				
つつじ類	コガネムシ類	9kg/10a	定植時及び 生育期	2回	2回	定植時: 全面土壌混和 及び 株元土壌混和 生育期: 株元土壌混和
			生育期			
ストック	コナガ	9kg/10a	定植時	1回	1回	全面土壌混和
		18kg/10a				
シクラメン ペゴニア	キンケクチフトソウムシ幼虫	1~2g/株	生育期	1回	1回	株元散布
プリムラ	キンケクチフトソウムシ成虫	0.5~2g/株				
イチイ	キンケクチフトソウムシ幼虫	2g/株				
芝	コガネムシ類 シバオサゾウムシ成虫 ケラ	5~10kg/10a	発生初期	3回	3回	散布

作物名	使用目的	使用量	使用時期	総使用回数*		使用方法
				本剤	カルボスルファン剤	
芝	ミミズの糞塚形成防止	5~10kg/10a	糞塚形成時	3回	3回	散布
	オオハサミムシの 脱出孔形成防止		脱出孔形成時			

## 生産者の皆様へ

### 登録内容変更についてのお知らせとお願い

## アドバンテージ粒剤（農林水産省登録第15474号）

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、アドバンテージ粒剤は登録作物の削除申請をいたしました（平成26年11月11日）。短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短期間（1日）に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

■ お願い：作物名が削除される作物では使用しないでください。

■ 登録変更内容：作物名から下記作物を削除する。

なす	きゅうり	すいか	メロン
とうがん	だいこん	いちご	ねぎ
かんしょ			

■ 登録変更後の【適用害虫と使用方法】は裏面の通りです。

【本件に関するお問い合わせ先】

日産化学工業株式会社 農業化学品事業部 マーケティング部 TEL:03-3296-8141

## 変更後の【適用害虫と使用方法】(平成26年11月11日 申請内容)

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*		使用方法
				本剤	カルボスルファン剤	
水 稲 (箱育苗)	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ イネヒメハモグリバエ イネハモグリバエ イネゾウムシ	育苗箱 (30×60×3cm 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 50～70g	移植前3日～ 移植当日	1回	1回	育苗箱の苗の 上から均一に 散布する。
	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm 使用土壌約5ℓ) 1箱当り 40～70g				
ピーマン とうがらし類	ミナミキイロアザミウマ	株当り0.5g	育苗期後半	1回	2回	株元処理
		株当り1～2g	定植時			植穴処理
さとうきび	コガネムシ類幼虫 ハリガネムシ メイチュウ類	10 アール 当り	6～9kg	植付時	〔植付時の土壌混和は1回、 培土時の土壌混和及び 散布は合計1回〕	植溝処理
			10～20kg	培土時		土壌混和
き く	ネグサレセンチュウ	10～20kg	－	3回	3回	土壌混和
	ミナミキイロアザミウマ	株当り1～2g	植付時			植穴処理

## 石原アドバンテージS粒剤(農林水産省登録 第21074号)

### 登録変更(作物削除)についてのお願い

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。

この評価にあたり、石原アドバンテージS粒剤は登録作物の削除申請をいたしました。

短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短時間(1日)に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

#### お願い

作物名が削除される作物では使用しないでください。

#### 登録変更内容

作物名から下記作物を削除する。

かんしょ

だいこん

ねぎ

#### 変更後の適用表(平成26年11月11日申請内容)

作物名	適用害虫名	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	カルボスルファン を含む農薬の 総使用回数
さとうきび	ハリガネムシ類 メイチュウ類	6~9kg	植付時	1回	植溝処理 土壌混和	2回以内 (植付時の土壌混和 :1回以内 培土時の土壌混和 及び散布 :1回以内)
	コガネムシ類幼虫	9kg	培土時	1回	株元処理 土壌混和	
	カンシャコバネ ナガカメムシ	3~4kg	収穫100日 前まで		散布	

[本件に関するお問合せ先]

石原バイオサイエンス株式会社 開発普及部 03-5844-6320



石原バイオサイエンス株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号

生産者の皆さまへ

重要な  
お知らせ

# オンコルOK粒剤

農林水産省登録 第22787号

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、オンコルOK粒剤は平成26年11月11日付で登録変更申請をいたしました。短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短時間に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録変更申請内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

## 登録変更申請内容

### 農薬登録の削除作物について

下記の作物ではオンコルOK粒剤を使用しないでください

作物名			登録削除の内容
かんしょ	とうがん	オクラ	作物を削除

オンコルOK粒剤は以下の新しい登録変更申請内容にてご使用をお願いいたします

### オンコルOK粒剤(登録番号 第22787号) 平成26年11月11日 登録変更申請内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
さとうきび	コガネムシ類幼虫	9kg/10a	生育期	1回	株元散布又は株元土壌混和	1回
	コガネムシ類幼虫 ハリガネムシ類 メイチュウ類	6~9kg/10a	植付時		植溝土壌混和	
	メイチュウ類	4~6kg/10a	生育期 (分けつ期まで)		株元散布又は株元土壌混和	
花き類・観葉植物	アザミウマ類	6kg/10a	生育期	3回以内	株元散布	4回以内
きく	ミナミキイロアザミウマ	6~9kg/10a	定植時	1回	植溝土壌混和 又は株元散布	
	ミカンキイロアザミウマ	9kg/10a	生育期	3回以内	株元散布	



OAT アグリオ株式会社

お問合せ先: コールセンター 0120-210-928

登録変更内容についてのお願い

生産者の皆さまへ

重要な  
お知らせ

# グランドオンコル粒剤

農林水産省登録 第20317号

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、グランドオンコル粒剤は平成26年11月11日付で登録変更申請をいたしました。

短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短時間に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録変更申請内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

## 登録変更申請内容

### 農薬登録の削除作物について

下記の作物ではグランドオンコル粒剤を使用しないでください

作物名			登録削除の内容
きゅうり	キャベツ	ねぎ	作物を削除

グランドオンコル粒剤は以下の新しい登録変更申請内容にてご使用をお願いいたします

### グランドオンコル粒剤(登録番号 第20317号) 平成26年11月11日 登録変更申請内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ セジロウンカ ニカメイチュウ イネツトムシ イネシンガレセンチュウ	育苗箱 (30×60×3cm、) 使用土壌約5ℓ 1箱当り50g	移植3日前 ～移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に 散布する。	1回
	イネカラバエ フタオビコヤガ		移植当日			

 OAT アグリオ株式会社

お問合せ先: コールセンター 0120-210-928

登録変更内容についてのお願い

生産者の皆さまへ

登録変更内容についてのごお願い

重要な  
お知らせ

**明治ジャッジ箱粒剤** (農林水産省登録 第20093号)

**大塚ジャッジ箱粒剤** (農林水産省登録 第20092号)

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、ジャッジ箱粒剤は平成26年11月11日付で登録変更申請をいたしました。

短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短時間に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録変更申請内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

登録変更申請内容

農薬登録の削除作物について

下記の作物ではジャッジ箱粒剤を使用しないでください

作物名			登録削除の内容
きゅうり	キャベツ	ねぎ	作物を削除

ジャッジ箱粒剤は以下の新しい登録変更申請内容にてご使用をお願いいたします

ジャッジ箱粒剤 平成26年11月11日 登録変更申請内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	いもち病 もみ枯細菌病 白葉枯病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ツマグロヨコバイ イネヒメハモグリバエ ヒメトビウンカ セジロウンカ ニカメイチュウ第1世代 イネシנגアレセンチュウ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌 約5ℓ) 1箱当り50g	移植前3日 ～移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に 散布する。	1回	2回以内 (育苗箱への処理 及び側条施用は 合計1回以内)

[本件に関するお問合せ先]

Meiji Seika ファルマ製品の場合 Meiji Seika ファルマ株式会社 農薬資材部  
営業グループ 03-3273-3431

OAT アグリオ製品の場合 OAT アグリオ株式会社  
コールセンター 0120-210-928



生産者の皆さまへ

# 登録変更内容についてのお願い

重要な  
お知らせ

## オンコル粒剤5

農林水産省登録 第16575号

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、オンコル粒剤5は平成26年11月11日付で登録変更申請をいたしました。

短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短時間に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録変更申請内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

お願い：下記の作物ではオンコル粒剤5を使用しないでください

平成26年11月11日付け登録変更申請内容：登録作物から下記作物の削除。

作物名			登録削除の内容
きゅうり	すいか	メロン	作物を削除
なす	なばな	キャベツ	
はくさい	だいこん	ブロッコリー	
カリフラワー	レタス	ねぎ	
わけぎ	ほうれんそう	とうがん	
いちご	かんしょ	ばれいしょ	
オクラ			



OAT アグリオ株式会社

お問合せ先：コールセンター 0120-210-928

生産者の皆さまへ

# オンコル粒剤5登録変更内容についてのお願い

## 登録変更申請内容

オンコル粒剤5は以下の新しい登録変更申請内容にてご使用をお願いいたします

オンコル粒剤5(登録番号 第16575号) 平成26年11月11日 登録変更申請内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数	
稲 (箱育苗)	イネミズソウムシ イネドロオイムシ イネヒメハモグリバエ イネハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm 使用土壌約5ℓ) 1箱当り30~60g	移植前3日~ 移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	
	ツマグロヨコバイ ヒメトビウンカ セジロウンカ	育苗箱 (30×60×3cm 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~80g					
	イネシンガレセンチュウ	育苗箱 (30×60×3cm 使用土壌約5ℓ) 1箱当り60g					
ピーマン とうがらし類	ミナミキイロアザミウマ	0.5g/株	育苗期後半 又は定植時	1回	株元散布	1回	
ひろしまな	アオムシ モモアカアブラムシ	1g/株	育苗期後半				
メキャベツ 非結球メキャベツ	アブラムシ類		定植時				
らっかせい		9kg/10a	は種時				全面土壌混和
さといも	コガネムシ類幼虫	6~9kg/10a	生育期 但し、 収穫60日前まで				株元土壌混和
	アブラムシ類		植付時				植溝土壌混和
さとうきび	コガネムシ類幼虫	9kg/10a	生育期				株元散布又は 株元土壌混和
	コガネムシ類幼虫 ハリガネムシ類 メイチュウ類	6~9kg/10a	植付時				植溝土壌混和
	メイチュウ類	4~6kg/10a	生育期 (分けつ期まで)				株元散布又は 株元土壌混和
モロヘイヤ		1g/株	定植時				植穴土壌混和
花き類・ 観葉植物	アザミウマ類	6kg/10a	生育期	3回以内	株元散布	4回以内	
きく	ミナミキイロアザミウマ	6~9kg/10a	定植時	1回	植溝土壌混和 又は株元散布		
	ミカンキイロアザミウマ	9kg/10a	生育期	3回以内	株元散布		
つつじ類	コガネムシ類幼虫			定植時	全面土壌混和 又は株元土壌混和		
ストック	コナガ	0.5g/株	1回		全面土壌混和 株元散布		
たばこ	アブラムシ類	6kg/10a			作条土壌混和	1回	
	アザミウマ類	3~6kg/10a					



OAT アグリオ株式会社 お問い合わせ先: コールセンター 0120-210-928

生産者の皆さまへ

登録変更内容についてのお願い

重要な  
お知らせ

# オンコルスタークル粒剤 (農林水産省登録 第21972号) 大塚オンコルスタークル粒剤 (農林水産省登録 第21973号)

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、オンコルスタークル粒剤は平成26年11月11日付で登録変更申請をいたしました。

短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短時間に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録変更申請内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

## 登録変更申請内容

### 農薬登録の削除作物について

下記の作物ではオンコルスタークル粒剤を使用しないでください

作物名				登録削除の内容
ねぎ	きゅうり	なす	メロン	作物を削除

オンコルスタークル粒剤は以下の新しい登録変更申請内容にてご使用をお願いいたします

### オンコルスタークル粒剤 平成26年11月11日 登録変更申請内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	育苗箱 (30×60×3cm、) 使用土壌 約5ℓ 1箱当り50g	移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に 散布する。	4回以内 (育苗箱への処理及び 側条施用は合計1回以内、 本田での散布、空中散布、 無人ヘリ散布は 合計3回以内)	1回
きく	アザミウマ類	6kg/10a	生育期	3回以内	株元散布	5回以内 (土壌混和は1回以内)	4回以内

### [本件に関するお問合せ先]

三井化学アグロ製品の場合 三井化学アグロ株式会社  
フリーダイヤル 0120-104720

OAT アグリオ製品の場合 OAT アグリオ株式会社  
コールセンター0120-210-928

生産者の皆さまへ

登録変更内容についてのお願い

重要な  
お知らせ

# オンダイアエース粒剤

農林水産省登録 第20345号

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、オンダイアエース粒剤は平成26年11月11日付で登録変更申請をいたしました。

短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短時間に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録変更申請内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

## 登録変更申請内容

### 農薬登録の削除作物について

下記の作物ではオンダイアエース粒剤を使用しないでください

作物名					登録削除の内容
キャベツ	はくさい	ブロッコリー	ばれいしょ	ねぎ	作物を削除
すいか	メロン	なす	だいこん		

オンダイアエース粒剤は以下の新しい登録変更申請内容にてご使用をお願いいたします

### オンダイアエース粒剤(登録番号 第20345号) 平成26年11月11日 登録変更申請内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダイアジノンを含む農薬の総使用回数	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
さとうきび	コガネムシ類 ハリガネムシ類	6kg/10a	植付時	1回	植溝土壌混和	2回以内	1回
きく	アブラムシ類	9kg/10a	定植時			1回	4回以内
つつじ類	コガネムシ類	2g/株			植穴土壌混和	2回以内	



OAT アグリオ株式会社

お問合せ先: コールセンター 0120-210-928

生産者の皆さまへ

登録変更内容についてのお願い

重要な  
お知らせ

# オンコルマイクロカプセル

農林水産省登録 第20337号

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、オンコルマイクロカプセルは平成26年11月11日付で登録変更申請をいたしました。

短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短時間に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。

このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録変更申請内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

## 登録変更申請内容

### 農薬登録の削除作物について

下記の作物ではオンコルマイクロカプセルを使用しないでください

作物名					登録削除の内容
キャベツ	はくさい	ブロッコリー	カリフラワー	レタス	作物を削除
非結球レタス	ねぎ	わけぎ	にら		

オンコルマイクロカプセルは以下の新しい登録変更申請内容にてご使用をお願いいたします

### オンコルマイクロカプセル(登録番号 第20337号) 平成26年11月11日 登録変更申請内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
チャイブ	ネギアザミウマ	2,000	100~300ℓ/10a	収穫21日前まで	1回	散布	1回
きく	アザミウマ類	1,000	150~300ℓ/10a	発生初期	3回以内		4回以内
ばら	アブラムシ類						

 OAT アグリオ株式会社

お問合せ先: コールセンター 0120-210-928

生産者の皆さまへ

登録変更内容についてのごお願い

## 重要な お知らせ

# オンコル粒剤1

農林水産省登録 第18190号

今般、原則として全ての農薬に、順次、短期暴露評価が実施されることとなりました。この評価にあたり、オンコル粒剤1は平成26年11月11日付で登録変更申請をいたしました。短期暴露評価とは、登録されている使用方法で想定される最大の農薬量が残留したと仮定した作物を、たとえ通常より多くの量を短時間に摂取した場合でも、健康に影響を与えないよう農薬の安全性を一層担保するために導入されるものです。このため、生産者の皆さまにおかれましては、以下の新しい登録変更申請内容にてご使用いただきますようお願いいたします。

### 登録変更申請内容

#### 農薬登録の削除作物について

下記の作物ではオンコル粒剤1を使用しないでください

作物名				登録削除の内容
キャベツ	きゅうり	すいか	メロン	作物を削除
なす	ねぎ	はくさい	だいこん	

オンコル粒剤1は以下の新しい登録変更申請内容にてご使用をお願いいたします

#### オンコル粒剤1(登録番号 第18190号) 平成26年11月11日 登録変更申請内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ベンフラカルブを含む農薬の総使用回数
ピーマン	アブラムシ類	2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	1回
花き類・観葉植物(きく、ストックを除く)		2g/株(40kg/10aまで)	生育期	3回以内	株元散布	4回以内
きく		0.25g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	
		1~2g/株(40kg/10aまで)	生育期	3回以内	株元散布	
ストック	コナガ	20kg/10a	定植時	1回	全面土壌混和	4回以内
	アブラムシ類	2g/株(40kg/10aまで)	生育期	3回以内	株元散布	



OAT アグリオ株式会社

お問合せ先: コールセンター 0120-210-928